涙の「アタック・ヤング」

千春のひとりうた

陸別と帯広で

陸別町の市街中央に完成した「緑と太陽の広場」のオープンにさいして、陸別町と陸別町観光協会の招きで、七月十六日の前夜祭に五色の噴水塔を背景にして「千春のコンサート」をひらきます。（雨天の場合はとなりのスポーツセンターで）

つぎの十七日は正午から帯広市民会館でSTVのサンデー・ジャンボ・スペシャルの公開生放送に出演します。（入場無料）

★

千春は目下、第二弾の新曲「かざぐるま」「旅の雨」とLP盤発売にともない東京、名古屋、大阪、福岡など各地の放送局めぐりをしながら、日曜と月曜深夜の生放送のため札幌に戻っては本州へと飛行機でトンボ返り中です。

STVラジオの「千春のアタック・ヤング」は毎週月曜日の深夜（火曜日午前〇時から五十分）のワンマン番組で、その一部を紹介してみます。

ユッカは死んだ

札幌市豊平の方なんですけど、チョッと読まさして頂きます『私が四年間つきあってきた親友がいました名前はユッカといいます。とってもメンコイ女の子だったのです。私達はなにもするのもいつもいっしょだったのです。まして千春君を好きになったのも。ユッカは心臓病だったのです。ユッカは病院に入ったり出たりで入院生活の楽しみはラジオをきくことだったのです。そのころ千春君の「旅立ち」がヒットしていて、ユッカは千春君を一度見たいと言い出したのです。ユッカは私といると千春君の話ししかしなかった。そのユッカを見ていると心臓病などとは信じられなかったのです、そこでお医者さんの許可を得て千春君を見にゆくことにしたのです。それではこんどの日曜日午前十一時ころ迎いにくるネ。といって私は病院を出たのです。その言葉がユッカに出げる最後の言葉となってしまったのです、とっても悲しかった。ユッカは一度もあこがれの千春君を見ることができなかったのです。千春君、こんな悲しい話しを聞かせてご免なさい、でも悲しい私の気持、千春君にしか伝えられない。だからユッカの好きだった「旅立ち」を天国のユッカに聞かせてあげて下さい。これからはユッカの分も力いっぱい生きていくつもりです。お元気で、さようなら』（ここで千春は「旅立ち」を歌ってから）ユッカに聞えたでしょうか。オレは声がでかいからヒョッとしたら聞えたかもしれないネ。親友の人、どうもありがとう。手紙くれてネ。ユッカなんていう人いたなんてしらなかったものネ…オレは歌を歌うことしかできないんです、みなさんが応援して下さるかぎり歌っていきたいと思います。

★

この方は旭川の方ですネお手紙なんです、読んでみます『千春君こんばんは、はじめてお便りします、今日はぜひ聞いて頂きたいことがあり筆をとりました、私の一番最大切な彼が死んだんです、彼は私の生きる希望でした、私は入院生活いまもこのベッドの上で書いています、私の病気は白血病です、知っているでしょう、病名を何カ月も前に知ったのです、二年も入院していて何も知らなかったのです、私はいま十八才です、高校も四、五カ月いった程度です、白血病、にくいです、本当に、この病気は私から青春をうばったのです、彼にあうまでは一長くて私は一年か一年半くらいしか生きられません。そう知ったときに私は死を選びました、死はなんでもなく生きてる方が苦しかったのです、夜中に屋上で私は手首を切りました一瞬、静脈が飛び出してあとはわかりませんでした、そのとき私を見つけてくれたのが彼だったのです、病室を抜け出しギターをひいていたのです私は助かりこうして生きているのです、でも死んでいたらこんな悲しい目にあわなかったかもしれません自殺に失敗してから私は誰も信じられませんでした、でも彼は毎日病室へきてくれましたそのうちお互いに好きになっていたわけです、皮肉な運命です、パジャマのデート、消毒薬の臭い、私は幸せで生きていてよかったと思う毎日でした、そして彼に感謝したものでした、でもこんな状態は長くつづきませんでした、彼は左腕を切断したのでした、大好きなギターも野球もできなくなりました、彼は悪性の腫瘍になりたかったのです、白血病を直すのだといつもいっていたのです、不幸な人を救うのだと頭を輝やかしていたのです、そして度々ベッドからおきられなくなったのです、千春さん、病人がベッドからおきられなくなった苦しみを想像して下さい、彼はおきあがることができました、肉体ではなく根性です、私も熱が下り輸血ではれた手で彼のところへ毎日通いました、途中何回倒れたり休んだりしたことか、でも彼のところへいくのが心の支えだったのです、そしてはじめてキスをしました、彼のベッドで一将来の約束もしました、私達には未来はありません、死は確実にくるのですからーでも彼は一週間前に私一人を残して十九才で閉じたのです、もう私には何も残っていません彼もありません、私は三日間こんなすい状態です、二日前に気がついたのですからいま残っているのは左手首の傷ー私はいま彼のそばへいきたいだけです、あんないい人、あんな若さで終らせました、キレイな死に顔でした、しめっぽい話しでご免なさい、でも一人でも多くの人に彼の人生を知ってほしかったのです、千春さん、これからも彼のためにもガンバッて下さい、最後に彼といっしょに歌った「初恋」をリクエストします、ベッドで寝たままなので退屈でたまりません、お願いします』（ここで「初恋」を歌いました）

★

この放送に対して小樽市のS・Sさんから速達郵便で『旭川の一人ぼっちのスイートピーさんのこと…彼女、また自殺するんじゃないかって…私のようにどこも悪い所なく健康に暮している女の子は、彼女に対して何て言っていいのかわからないけれど、一日も長く生きていってほしい、生きる望みを捨てないではしい、おせっかいかもしれないけれど彼が死んでからは千春が頼りで手紙書いてきたんだもの、千春の歌の好きな私達も彼女の友達になりたい。もしも連絡の方法がないのならアタック・ヤングのなかでもう一度〃生きる〃ことを伝えてほしい…』

旭川市のY・Kさんからも速達で『六月十四日のアタック・ヤングきいてびっくりしました、実は私も妹が入院中の為、札幌の病院へ看病に来ています、白血病という病名をきいた時は泣くだけでした、ラジオから流れてくる明るい千春さんの声きいていて、こんな悲しい手紙出すのためらったのですが、やっぱり私、千春さんを知ることによって、彼女に素晴しい思い出が残ってくれれば、そして生きることに喜びを感じてくれることができたら…そう思い決心しました、どこへ行けば千春さんに逢ってお話しできるのですか？、妹が千春さんに逢いたがっているので、今度許可をもらって行ってみようと思っています、以前と変らぬ元気のあるうちに…彼女の明るい姿を、彼女の存在を知ってほしいんです、ぜひ千春さんに…』

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄町駅通り　T五ー二五一二

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
に 自動車
新津はなや
足寄町西三区　T五ー二六二六

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド　敷物一式　マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T五ー二四二八

大自然のなかの人工美
十勝最古の高温パラダイス
駐車場あり、電話でお予約下さい
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

技術に生きる！
ーあらゆる電気器具ー
ビクター
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T5-2642

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　T五ー二二三二番

赤外線焼付塗装ブース導入！
エナメル焼付塗装　オールUSA塗料使用
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T五ー二五七八　三七一九

夏物衣料を各産地から
沢山仕入れてきました
ただいま陳列を完了しまして
皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社
前田呉服店
足寄町駅前商店街　T五ー二〇三三

満三才から大学受験まで　エレクトーン料
ピアノ料　保母養成料　受験料
川岸音学院　川岸新一
国語、算数、理科の小学三年以上の学習塾
学研スタディ学院
院長　川岸新一　講師　光藤京美
会場　足寄町中央四区迅山デンキ方　T⑤二一一二
申込先　足寄町西五区　T⑤二八〇九

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具　建材　サッシ　住宅設備機械
有限会社
桜井家具建具店
足寄町本通り南三丁目　T五ー二三六二
アコーデオンカーテン　サッシ網戸
各種ご注文承ります
注文建具　注文サッシ
製作部
足寄町西五区　T五ー三三一五

防爆研軽量　造林用ミニチェンソー各種
同　造林用、薩摩用刈払機各種
造林用具（全道一）当麻町池侯刃物代理店
（島田鎌、植付鎌一式）
造林用高級刈払鎌　北の峰印代理店
造林用刈払鎌　山形米沢アオガリー製代理店
同　札幌市平田鋸具製代理店
マキタ　日立　東和　電動工具長運資格刃物代理店
（機械の修理は誠実本位の当社へ）
林業機械　造林用具　電動工具
有限会社
鈴木鋸刃物店
本社　足寄町大通り　T五ー二二〇七
営業所　本別町南二丁目T二ー四九二三